



国民民主党 産業と働く人のために 対決ではなく解決による 政策実現を！ で新たな船出



いそぎ議員公式サイト
をご覧ください！
動画好評配信中！
皆さんの代表として、様々な角度から
切り込む大臣達とのリアルな
論戦をご覧ください。

気になる動画
をクリック

スマートフォン
でも
パソコン
でも
動画が
見られる!!



ここを
タップ

産業と働く人のための 政策実現に向けて

5月7日に「**国民民主党**」が設立されました。自動車産業出身、

働く仲間の代表である古本伸一郎衆議院議員、浜口誠参議院議員、そして私、磯崎哲史の3名は、再び同じ政党に結集し、活動を開始しました。

国民民主党は、異なる意見を否定せず、熟議を尽くして合意を目指す政党です。

「**対決ではなく解決**」を目指す政党です。

どの政党も将来に向けて同じような課題を挙げています。しかし、立脚点が異なれば、解決策の中身や



2018年
1月19日

議院運営委員会
(平成30年度参議院
予算案質疑)

国会開会前(閉会中)の質問は初。
議院運営委員会では1月30日、3月7日にも国会同意人事に関し質問。

1月22日

第196回
通常国会開会

1月24日

中国全人代議長団
参議院議長表敬

その他、別の日にモザンビーク、スリランカ、フィリピンと3度の表敬訪問に議院運営委員会理事として同席。

2月4日

民進党
定期党大会

2月7日

資源エネルギー
調査会
(参考人質疑)

2月19日
~20日

議院運営委員会
委員派遣(宮城)

2月22日

資源エネルギー
調査会視察
横浜市のエネルギー関連
会社を視察。



それでは
**自動車ユーザーは
納得できない!**

(2016年4月決算委員会)



について

**より安全性の高い
分離帯に替える
べきだ!**

(2016年、17年決算委員会)



ワイヤーロープ



ワイヤーロープによる正面衝突事故防止事例

出典:「高速道路の正面衝突事故防止について」(国土交通省)
「ワイヤーロープ試行設置箇所交通状況について」(国土交通省)

二輪車の高速道路料金について

「軽自動車等」という区分から二輪車を独立させ、普通乗用車や軽自動車などとのバランスを考慮すべき。独立させることにより、高速道路利用状況も明確になるので、有効施策の検討も可能になる。

2017年にNEXCO中日本、東日本よりETC搭載の二輪車を対象に、2日間2,500円で乗り降り自由の「首都圏ツーリングプラン」を発売したところ好評。2018年4月からはNEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本など、お得な料金で乗り降り自由の全13コースのラインナップで全国展開が始まった。



参議院議員 いろがも 哲史

取り組む優先順位に違いが出てきます。国民民主党は、常に「生活者」「納税者」
「消費者」「働く者」の立場に立ちます。
そうした党の下で、改めて、産業の発展とそこで真面目に働く人の生活や労働環境をより良いものに
していくための政策実現に向け、取り組んでいく覚悟です。
先ずは、国民民主党が未来に向けた総合戦略の中で掲げた、自動運転に代表される「A」（人工知能）
を中心とした第4次産業革命への取り組みを、私の活動の足がかりにしたいと思います。
また、3議員が中心となって4月に旗揚げした「自動車産業の未来を考える会
議員連盟」をもうひとつのベースにしていきます。
こうした分野での活動を通して、これからも一つ一つ成果を生み出していく決意です。

3月22日

財政金融委員会
(法案質疑)
所得税法等改正案につ
いて質問。

3月29日

内閣委員会
(法案質疑)
子ども子育て支援法改正
案について質問。

4月6日

自動車産業の
未来を考える会
議員連盟
設立総会

野党の自動車議員連盟を
設立。6月13日、7月5日
にも会合を開催。

5月7日

国民民主党
設立大会
国民民主党の共同代表と
して、大塚耕平参議院議
員、玉木雄一郎衆議院議
員を選出。

5月15日

国民民主党
全部会合同会議
国民民主党の政策会議は、
5つの部会と一つの調査会
でスタート。

5月22日

総務委員会視察
総務省統計局を視察。

5月23日

本会議
(気候変動適応
法案代表質問)





いそぎ議員の

これまでの取り組みと主な成果

自動車損害賠償保障制度について

建設的な提案によって政府与党を説得し、代わりに実行してもらう、という活動を続けてきました。その主な成果をご紹介します。

自賠責保険は、自動車ユーザーの払った保険料で事故の被害者を救済する世界に誇れる事業。しかし、その運用益の中から1兆1,200億円が1994、5年度に一般会計に繰り入れられ、未だ6,169億円が繰戻されていないにも関わらず、2011、13年に自賠責保険料を値上げ。

その後どうなった？

2018年度に23.2億円が、自動車安全特別会計に繰戻されることに。その後の繰戻しにも大きな可能性を残した。

一般会計

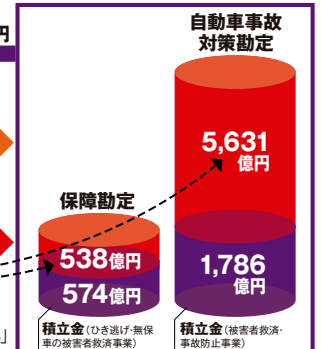
年度	繰入額
1994年度	8,100億円
1995年度	3,100億円
年度	繰戻額
1996年度	1,544億円
1997年度	808億円
2000年度	2,000億円
2001年度	2,000億円
2003年度	569億円

未繰戻し残高 6,169億円

(利子含む2017年度末見込み)

出典:「一般会計から自動車安全特別会計への繰戻し」(国土交通省)

自動車安全特別会計



(2017年度末見込み)

国際標準化戦略について

まず、お礼を申し上げたい。標準化について掘り出した質問をやっていたことはありがたい。



数十～数百兆円の巨大市場をもたらすと予想される第4次産業革命において、日本が「技術だけでなく、商売でも勝つ」ためには、国際標準を決定する機関でのポストを獲得することが重要。

その後どうなった？

横ばいで推移してきた経済産業省の当該予算と定員を、2018年度に約10億円(約25%)増、担当定員4名増。「JIS」規格も抜本的に見直し、改正法が成立した。

各国と渡り合える人材育成と予算確保が必要!

(2017年3月経済産業委員会)



対面高速道路(暫定2車線道路)

対面通行の高速道路(暫定2車線道路)で、反対車線への飛び出しによる死傷事故が、過去10年間で約680件あった。ラバーボールではなく、中央分離帯をもっと安全な構造のものに変更することで防げるはず。



ラバーボール

その後どうなった？

2017年4月、順次ワイヤーロープに変更する検証開始。対象の区間で前年45件あった正面衝突事故が、半年間でわずか1件に大幅減少しTVニュースにもなった。18年6月、国土交通省は、ワイヤーロープを本格設置することを発表した。

二輪車ETC搭載補助について

2016年4～8月に行われたNEXCO3社による購入助成金受付の結果、二輪車ETCは8万台分に搭載された。しかし、乗用車約75%に対して、二輪車のETC搭載率は約20%と依然低水準。高速道路利用促進の為に、助成金の支給を。

その後どうなった？

2017年に首都圏と近畿圏にて、ETC車載器購入助成金キャンペーンが先着10万台を対象に行われた。

購入助成金を継続的に実施すべき!

(2016年12月民進党オートバイ議員連盟要望書)

適正な料金へ引き下げるべき!

(2016年12月民進党オートバイ議員連盟要望書)



その後どうなった？

7月26日

7月22日

7月10日

5月24日

5月24日

自動車産業の未来を考える会議員連盟要請行動



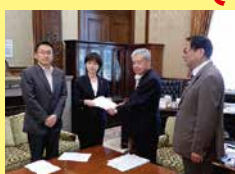
第196回通常国会閉会(両院議員総会)

内閣委員会(法案質疑)

森友学園・加計学園問題に対する国会対応についての申し入れ

総務委員会(法案質疑)

5月31日にも質問に立つ。

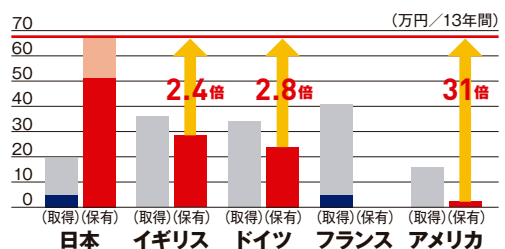


変だよ! 自動車関係諸税

変 その2

世界的に見ても高すぎる税金!

購入時の税金(日本:自動車取得税と消費税)は、アメリカに次いで安い。保有時の税金(日本:自動車税と自動車重量税)は、フランスはゼロ、アメリカと比較すると31倍、イギリスと比較しても2.4倍にもなる。



■自動車取得税/登録税(フランス) ■自動車税 ■自動車重量税
■消費税/付加価値税(イギリス・ドイツ・フランス) ■小売売上税(アメリカ)

前提条件: ①排気量1800cc ②車両重量1.5t以下 ③JC08モード燃費値15.8km/リットル(CO2排出量147g/km) ④車体価格180万円 ⑤フランスはバリエ、米国はニューヨーク市 ⑥フランスは課税馬力B ⑦13年間使用(平均使用年数:自検査データより) ⑧為替レートは1€=¥131.1€=¥151.1\$=¥112(2017/4~2018/3の平均) ※2018年4月時点の税体系に基づく試算 ※日本のエコカー減税等の特別措置は考慮せず 資料:自動車工業会調べ

変 その1

自動車には9種類もの税金がかかっている!

購入、保有、使用の3段階で9つの税金が課せられている。これは世界的に見ても珍しいこと。

購入時 自動車取得税・消費税
保有時 自動車重量税・自動車税・軽自動車税
使用時 揮発油税・地方揮発油税・軽油引取税・石油ガス税・消費税

※車種により払う種類が異なります。
仮に180万円の車を購入し、廃棄するまでの平均年数13年間
で試算すると、税負担額は約170万円にもなる。
出典:自動車工業会HP「ユーザーの負担」より一部引用

変 その3

同じ目的の税金が2つもかかっている!

購入時は、消費税だけでなく「自動車取得税」もかかる。これは同じ目的の税が二重にかかっている状態。消費税が10%に引き上げられる際に廃止予定だが、現在も二重課税のまま。

変 その4

税金に税がかかっている!

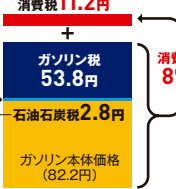
ガソリンの価格には税金(ガソリン税等)が含まれているが、その価格に消費税がかけられているおかしな構造。

ガソリン1リットル当たり150円の場合だと税金が67.8円。なんと価格全体の約45%を税金が占めていることになる。

※ガソリン本体価格と消費税は小数点第二位以下を切り捨て

ガソリン価格の内訳

(1リットル150円の場合)



変 その5

道路整備のためだった税金が、今や別の用途に

道路の維持・整備に使われてきた自動車関係諸税の税収は、法律が改正され、2009年より道路関連ではない分野へ投入。自動車ユーザーは、課税根拠が失われた税金を今も納めている。

変 その6

「暫定」税率でありながらいつまでも続いている矛盾

自動車重量税、揮発油税、地方揮発油税、軽油引取税は1970年代から、財源不足を補う暫定措置として増税されたまま今日に至っている。

年末に向けて、自動車の税制が大きく見直される予定です。現在の税制は変なことだらけです。自動車は、地方ではまさに生活の『足』。今のままでは保有することが困難になり、生活に影響を与えかねません。加えて、販売台数が減少していくと自動車産業で働く多くの人たちの生活にも少なからず影響が出てきます。理不尽なことがいくつもある自動車関係諸税。そのことを知り、税を正すことにひとりひとりが大声を出して世論を盛り上げ、みんなで政治を動かしましょう!





ISOGABA

いそがば 哲史

2018.1/1~8/10現在

皆様に出会うために、全国を駆け回っています！各地での各種会合・イベント等134件に参加しました。国会見学111件の訪問を受けました。

いそざき哲史事務所
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1210号室
TEL 03-6550-1210

制作：株式会社アコー

いそざき哲史
の「いま」を
配信中.....



いそざき哲史 公式サイト isozakitetsuji.com

いそざき哲史

検索

